



学長インタビュー

武蔵野美術大学
長澤忠徳 学長

大学教育をメインとした
テーマアップ通信

科学部

教育通信

2020

November No. 496
11月23日号

学長インタビュー

●「美大は誤解されている」—美大への理解をイノベーションする
武蔵野美術大学 長澤 忠徳 学長

●連載・現場からみた労働法 第88回
判例を読み解く(1) 小鳩 典明 関西外国语大学
外國語学部教授

●連載・本格的コンプライアンス経営への舵取り①~大学組織の病理と「コンプライアンス」④ 井頭 英治 城西国際
大学
「コンプライアンス」を学びて思わざれば則ち罔し⑥

●連載・日本の高等教育を考える② 大西 隆 豊橋技術科学大学前学長・名誉教授、
東京大学名誉教授

●連載・民間の力で研究環境を向上—研究支援サービス・パートナーシップ認定制度⑨
研究資産の適正な管理、運用、流通を促進する国内研究者向け複合支援サービス
松山 高恭 リカケンホールディングス
株式会社

●連載・授業ノートから⑦ 松本 美奈 上智大学特任教授/
帝京大学客員教授
学生は学者より社会を見ている

●連載・大学はなぜ変わらないのか—今、求められる組織開発とは⑬ 岩田 雅明 大学経営コンサルタント
成果の出せる組織⑮ 新島学園短期大学 学長

●連載・世界の大学に見る学習 第53回 立田 慶裕 神戸学院
大学
ジョージア大学の経験学習

●シリーズ・大学教育を変える、未来を拓くインターンシップⅡ 第14回 松高 政 一般社団法人产学協働人材育成
センター
インターンシップの新たな可能性

●連載・WILLが創る新たな大学の道⑭ 喜久里 要 早稲田
大学
生涯を通じて行う自己の開拓、そのための選択⑮

●連載・技術者教育を考える—高専の魅力と課題⑯ 藤本 昌 前沼津工業
高等専門学校長
高度化への模索(IV) 卒業生の質保証とモデルカリキュラム

連載 令和時代の新しい高等教育⑰ 大学の教育機能再考 山本 真一 筑波大学・広島大学
シリーズ「文化財を歩く」⑭ 城久遺跡群 文化庁
高専名誉教授



大学広報発信通信

文部
科学
教育通信

発行
ジアース 教育新社

<https://www.kyoikushinsha.co.jp/>
E-Mail : info@kyoikushinsha.co.jp

激動の高等教育

山本 真一 著

最新刊！



激動の高等教育(上)

ISBN978-4-86371-545-5
B6判／272頁
定価 2,300円+税



激動の高等教育(下)

ISBN978-4-86371-546-2
B6判／256頁
定価 2,300円+税

大学改革終息の目途が立たない激動の時代。改革は大学を良くする手段であるはずなのに、むしろそれ自体が目的となってきたのではないか——。「文部科学教育通信」（月2回発行、ジアース教育新社）に連載を続けてきた論稿のうち、前著に続く2015年から4年間に書いた95本の論稿を、上下2巻、16章に仕分けして編集した。

連載 民間の力で研究環境を向上——研究支援サービス・パートナーシップ認定制度⑨

研究資産の適正な管理、運用、流通を促進する 国内研究者向け複合支援サービス

リカケンホールディングス株式会社 松山 高恭

削減と技術の海外不正流出の防止にも寄与します。

三社連携プロジェクト

本サービスは各分野において実績のある三社連携プロジェクトです。理化学分野において大学・民間の研究者様とのネットワークを持つリカケンホールディングスグループが契約窓口を担当し、中古理化学分野において三〇年以上の実績を持つ日立キャビタルサービスが中古資産の管理メンテナンスを担当、これらサービスをつなぐITシステムの開発を在庫管理システム国内No.1の実績を持つZAIICO社が担当します。

ラボスタッフサポート

ラボスタッフサポートは大学・民間企業等の研究室のあらゆる資産・在庫の状況をシステムで管理することができるサービスです。本サービスは累計一〇万ユーザーに利用されているクラウド型在庫管理システム「ZAIICO」をプラットフォームとし、研究室内の

文部科学省が実施する「研究支援サービス・パートナーシップ認定制度」は、研究者の研究環境を向上させ、我が国における科学技術の推進及びイノベーションの創出を加速するサービスを認定する制度です。連載の最終回となる第九回は、令和元年度に認定した八つのサービスのうち、リカケンホールディングス株式会社・株式会社ZAICOが実施する「リサイクルネットワーク、マルチベンダーサービス、ラボスタッフサポート、ZAICO、ZAI」について、同社に寄稿いただきました。

文部科学省 科学技術・学術政策局 企画評価課

国内研究者向け複合支援サービス

本サービスは研究資産の適正な管理、運用、流通を促進し、日本の研究者に研究資産を安価に提供するサービスです。現在、大学における研究環境は、二〇〇四年に施行された国立大学法人化に伴う運営費交付金の削減と予算の競争的資金化によって、経常的な活動のための資金不足が生じております。

例えば、各大学の基礎研究強化に向けたティアトラック制度においては、若手研究者へ研究スペースの整備は整えたものの、資金が不足している現状が見受けられます。また、大学運営においては、より一層の健全な運営

体制を求められている中、ガバナンスの観点から厳格な資産や設備の管理を行う必要性が出てきています。しかしながらこれらを管理するシステムの導入にはコスト面や人手不足のため十分な対策を講じる事が困難でした。本サービスはイニシャルコスト及びランニングコストが無料から始められるクラウド型の研究資産の管理サービスを起点に、管理された機器の保守メンテナンス、中古売買までのライフサイクルをトータルでサポートすることを実現しました。

また、国内の理化学機器購入金額のうち七割を占める民間企業の研究資産を、減価償却後に国内で循環させることにより、廃棄物の

二〇〇品目（資産）までの管理が無料で利用可能で、PCでの操作はソフトウェアのインストールが不要、データベースにはAWS（アマゾン ウェブ サービス）を採用し完全で安定した運用を実現しています。スマートフォンから在庫（資産）を簡単にバーコード・QRコード・ICタグで管理することができます。従来、類似するシステムは初期導入費用だけでも一〇〇万円以上、といった高額な料金体系が必要となる中、本サービスではバーコード・QRコード管理を無料（月額数千円と低価格化で提供しており、研究施設におけるさらなる業務効率化、研究環境の改善を実現します。

また、本サービスでは拠点間や外部保管倉庫といった遠隔地の資産・在庫管理にも対応しており、複数の保管場所を同一のシステム上で管理する事で物理的な距離感を感じさせない保管体制を構築する事ができます。これから外部保管倉庫を探されている方に対しては、当社で提携する安価な地方倉庫を紹介しております。BCP（事業継続計画）の観点から災害など危機的状況下に置かれた場合でも、

マルチベンダーサービスは施設内における研究機器の保守・メンテナンス問合せ窓口を一本化し総合窓口として契約するサービスです。従来、納入業者ごとに点在して保守・メンテナンス窓口を本サービスで一本化しシステム上で管理することで、煩雑な運用管理業務から解放されます。保守点検状況の管理システムとして前記ラボスタッフサポートを使用しており、お手持ちのスマートフォンから機器に貼られたバーコード・QRコードを読み込むことにより機器のメンテナンス状況などを即座に把握することを実現します。

本サービスは各社のSOP（標準作業手順書）に合わせ項目をカスタマイズすることが可能です。例えば、医薬品の製造・品質管理等に準ずる場面で求められる機器のIQ・OQ・PQで検証したバリデーション結果を記録でき適正時期に計画的に活用することができます。メンテナンス作業においては、自社や提携企業によりメーカー・ライセンスを持つ技術スタッフを有し、流通する多くの理化学機器メンテナンスに対応できる体制を整えております。

リサイクルネットワーク

リサイクルネットワークは中古理化学機器専門の売買サービスです。研究資産を調達する際にオンラインの中古売買プラットフォーム「ZAI」で中古機器を簡単に検索でき、リーズナブルに理化学機器を購入することができます。

保管場所を分散することによりリスクを軽減させる事が可能で、ます。

マルチベンダーサービス

これまでの理化学機器の中古機器販売の多くは自動確認が未実施であることや、購入後のサポートがないなど、不安点が課題として挙げられます。また、本サービスでは買い取り後に日立キヤビタルサービスの木更津テクニカルセンターで整備・作動確認・適正な保管を行っています。また、購入前に実機を木更津で確認していただくことも可能です。そして販売後はマルチベンダーサービスによりアフターフォローも行います。従来の買い取り業者は海外輸出を目的とする業者が多く占めておりましたが、本サービスの買い取り機器は国内取引を徹底し海外不正流出を防ぎます。これら取り組みは大学や民間企業における廃棄物削減やSDGsに対する取り組みにも寄与します。

今後の展望について

今後は資産管理を行うとAIが自動的に資産を査定する機能を搭載し資産の遊休化の防止や、IoT重量計により物品の重さから在庫数量を算出しリアルタイムに在庫数をシステム上に反映させる「数えない在庫管理」を実現します。

現在、本サービスは既に大手製薬企業や化学会社における日々の在庫・資産管理の効率化対策や環境保全への取組として利用されています。今後、これまでに蓄積したノウハウを低コストで手軽に利用できる解決策として、特に「知」の創出に貢献する基礎研究分野を縁の下の力持ちとして支えます。



NEXT ALL Support of Researchers



Neosupo URL
<https://neosupo.rikaken-hd.co.jp/>



中古売買 URL
<https://science.zai.market/>

当社では令和2年4月1日より本認定サービスを含む当社サービスの総称を【ネオサポ】にリニューアルいたしました。